



夏をより楽しむための、夏の衣類の取説

～衣類を長持ちさせるコツや、夏のトラブルから守る方法～

★衣服の紫外線対策

夏になると紫外線の量が増え、衣類にも影響を及ぼします。

紫外線は、「太陽光」だけでなく「蛍光灯」からも出ています。

影響) ◆染料を分解して、「変色」「退色」を引き起こします。

対策) ◆日光の当たる窓際に衣類を吊るさない

◆洗濯物（特に色柄物）は裏返して干す

◆蛍光灯の光を長期間受ける場所に衣類を放置しない

◆クリーニングした衣類は十分乾燥させてから収納する



②内側と表側で色の差が出ている。

★衣服の汗対策

人間は汗をかくことで体温調整を行うので、汗をかいていないようでも必ず汗をかいています。

影響) ◆「変色」を引き起こします。

汗の成分には「^{せんしょくけんろうど}染色堅牢度」を低下させる働きがあります。

※ **染色堅牢度**とは、染料で染められた生地が、汗・水・紫外線・摩擦等で変色・退色する事に対する抵抗性の強さを表すものです。

◆紫外線と汗の複合変色

「汗」は紫外線に対する**染色堅牢度**低下させるためこの2つが複合すると通常では考えられないような著しい変色を起こします。

対策) ◆衣服に付いた「汗」を蓄積付着させない為、こまめな「洗濯」や「クリーニング」をすることが大切です。

◆**ドライクリーニングでは「汗」は取れません。「汗抜きドライ」**をご用命下さい。



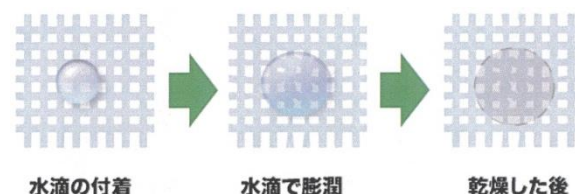
★「水シミ」に要注意!

ゲリラ豪雨や夕立等、突然の雨に見舞われるケースが増えてきました。

ずぶ濡れ・・・とまではいかななくても雨や傘から落ちる^{しずく}滴で衣類がシミになる事があります。

原因) ◆水分の影響で、繊維表面の光に対する反射の仕方が変化して乾いてもシミになった様に見えることがあります。

◆水溶性の絵具で描かれた絵に水を垂らすとにじむ様に、生地の染料や加工剤が浮き上り、他の場所に移動します。生地が乾燥するとその部分が固まってしまい輪ジミや色ジミを起こします。



対策) ◆「**防水加工**」をする

◆汗や雨によって生じた「輪ジミ」を放置しておかないことがポイントです。

早めにクリーニングにお出し下さい。

